

電磁式フィーダ用コントローラ

MFC-N3、N6

説 明 書

機能切替部と外部信号入力部

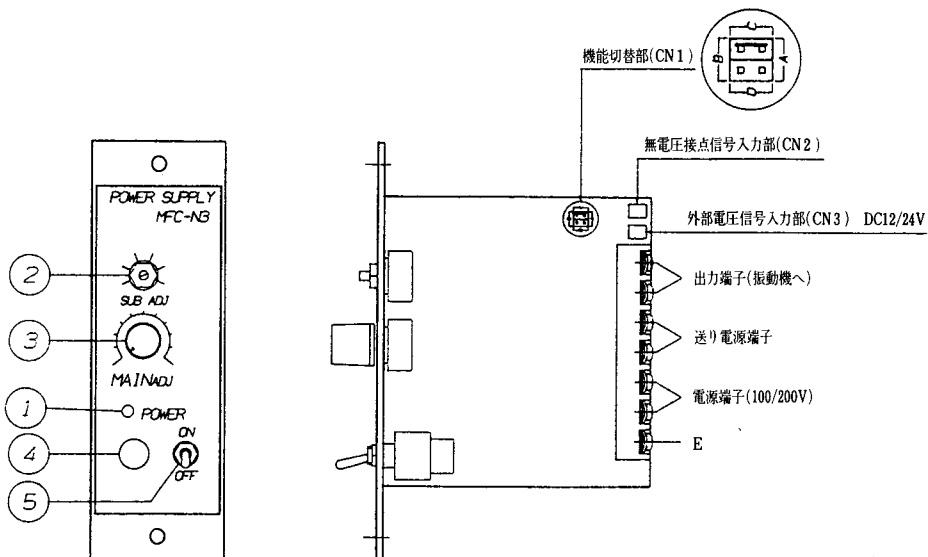
- (1) 機能切替部(CN1)で、ジャンパーピンを差替えることによって4種類の機能を選択することができます。

注、機能切替部(CN1)は、プリント板に取付けてあり4ヶ所にA~Dの表示があります。

ジャンパーピンの位置	機能および型式	
C	半波制御、外部信号無	MFC-N x H
A	半波制御、外部信号有	MFC-N x HR
B	全波制御、外部信号無	MFC-N x F
D	全波制御、外部信号有	MFC-N x FR

注、xは、3又は6で出力電流を表示します。

- (2) 接点信号入力部(CN2)・・・機能切替部がAまたはDの位置のときに使用可。
外部信号が無電圧接点の場合は、CN2にコネクタを接続してください。
- 注1. この入力部に使用する電線は、できるだけ短くしてください。長い場合は、制御不能となることがあります。
2. この回路は、電源から絶縁されておられませんから大地との絶縁には充分の配慮が必要です。
3. この回路の電圧は、電源電圧と同じで、電流は、10mA以下ですから使用する接点は、これらにみあったものとしてください。
4. CN2を使用したときの動作は、接点ONで運転、OFFで停止となります。
- (3) 電圧信号入力部(CN3)・・・機能切替部がAまたはDの位置のときに使用可。
外部信号が電圧(DC12~24V)の場合は、CN3にコネクタを接続してください。
- 注1. この入力部は直流電圧を使用するため、+-の極性がありますからプリント板にある表示にしたがって間違いのないようにしてください。
2. CN3を使用したときの動作は、電圧を印加で運転、無電圧で停止となります。
3. この回路の電流は、20mA以下です。
- (4) 接点信号(CN2)と電圧信号(CN3)の併用
推奨しませんが、使用は可能です。動作は、OR動作となります。但し、機能切替部がAまたはDの位置のときに使用可能となります。



各部名称

- 1 : 電源表示灯
- 2 : 出力電圧調整器 (副)
- 3 : " (主)
- 4 : フューズ (3 A)
- 5 : 電源スイッチ

送り電源端子には、電源スイッチおよびフューズを經由した電源電圧が出ます。電磁弁、リレー等を接続して電源スイッチによって他の装置を連動運転することができます。但し、使用できる電流は200mA以内としてください。

搬送スピードの調整方法

搬送スピードの調整は出力電圧調整器のSUB ADJとMAIN ADJを使って行なって下さい。

- (1) 電源電圧が100V系の場合は SUB ADJを右一杯に回して、MAIN ADJで調整します。
- (2) 電源電圧が200V系の場合は SUB ADJを左一杯に回して、MAIN ADJで調整します。

上記の状態以最適なスピードが得られないときは、SUB ADJを1目盛程、左、右に回して下さい。